

平成26年 広島県鉱工業生産・出荷・在庫指数（速報）

広島県の鉱工業生産・出荷・在庫指数(平成22年平均=100)について、平成26年の動きを速報として取りまとめた。

1 概況

～昨年に引き続き、生産・出荷・在庫とも上昇～

- 平成26年の鉱工業指数(原指数)は、生産104.1(前年比2.0%)・出荷101.5(前年比1.3%)・在庫113.3(前年比1.4%)となり、ともに前年比は上昇した。
- 四半期(季節調整済指数)でみると、生産・出荷ともⅡ期以降前期を下回り、在庫は110.0を超えて推移した。
 - 《生産》 I期…106.0, II期…104.9, III期…104.1, IV期…101.9
 - 《出荷》 I期…104.0, II期…102.9, III期…100.2, IV期…99.3
 - 《在庫》 I期…110.8, II期…114.3, III期…118.0, IV期…112.5

(1) 生産

- ・生産指数は104.1、前年比2.0%上昇(3年連続)。
- ・業種別にみると、前年比では、一般機械工業(総合)、電気・情報通信機械工業、輸送機械工業など10業種で上昇、金属製品工業、その他製品工業、木材・木製品工業など8業種で低下。

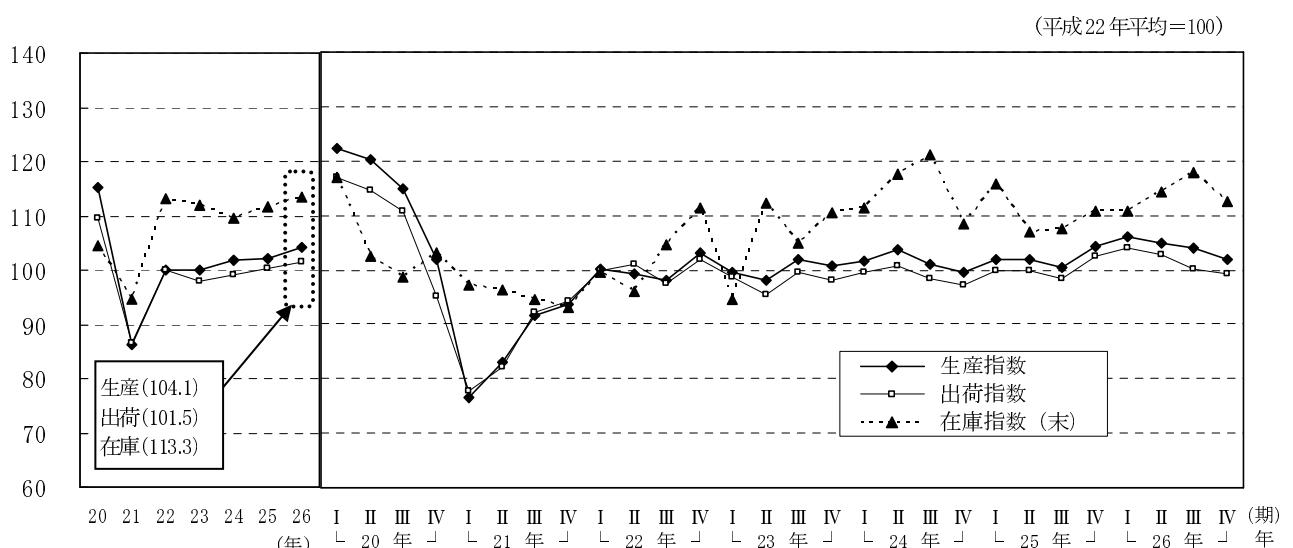
(2) 出荷

- ・出荷指数は101.5、前年比1.3%上昇(3年連続)。
- ・業種別にみると、前年比では、輸送機械工業、鉄鋼業、一般機械工業(総合)など9業種で上昇、金属製品工業、その他製品工業、非鉄金属工業など9業種で低下。

(3) 在庫

- ・在庫指数は113.3、前年比1.4%上昇(2年連続)。
- ・業種別にみると、前年比では、化学工業、一般機械工業(総合)、金属製品工業など10業種で上昇、鉱業は横ばい、輸送機械工業、鉄鋼業、プラスチック製品工業など6業種で低下。

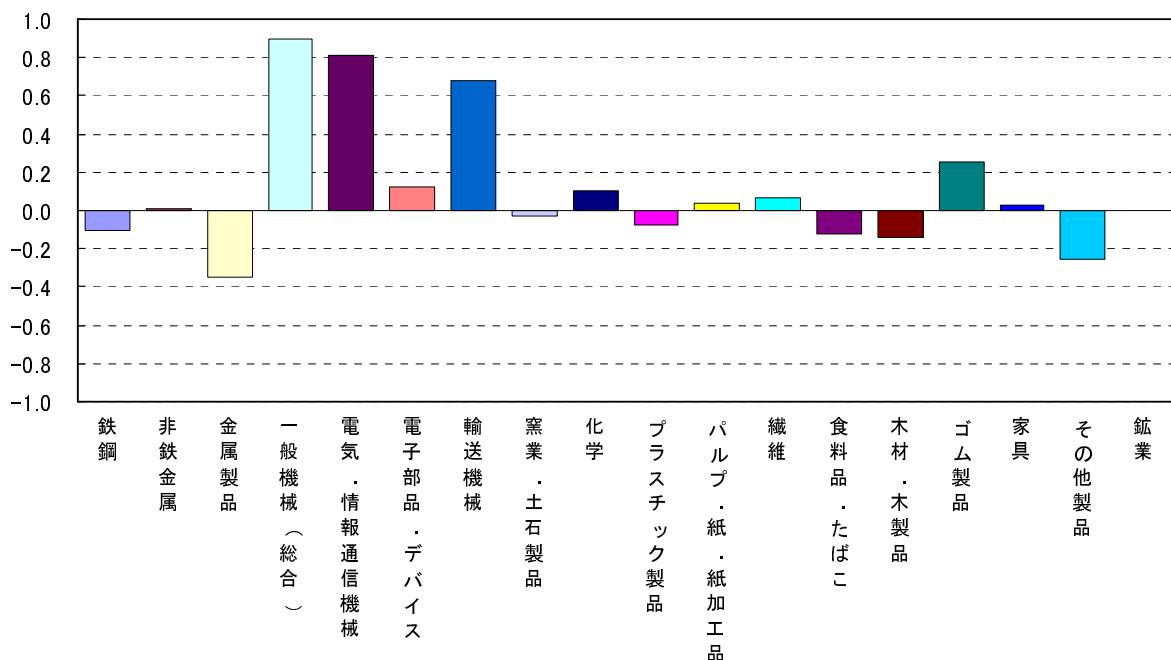
鉱工業指数の推移(年は原指数、四半期は季節調整済指数)



2 生産の業種別動向（寄与度順）

上昇した主な業種	前年比	上昇した主な品目
一般機械工業（総合）	5.1%	ショベル系掘削機、半導体製造装置、プレス用金型
電気・情報通信機械工業	21.1%	電気計器、携帯電話、アーク溶接機
輸送機械工業	2.0%	造船新造、ディーゼルエンジン、普通自動車
低下した主な業種	前年比	低下した主な品目
金属製品工業	▲15.9%	橋りょう、グレーチング、やすり
その他製品工業	▲39.6%	平版印刷(オフセット印刷)、電動玩具、マーキングペン
木材・木製品工業	▲7.6%	製材品、特殊合板、パーティクルボード

(%) 業種別前年比寄与度(生産)



3 主要業種の生産動向（左側が平成 25 年分、右側が平成 26 年分）

(1) 鉄鋼業（生産指数 96.1 → 94.8）

- 生産指数は、前年比 ▲1.4% 低下（2年連続）。
- 低下した主な品目は、亜鉛めっき鋼板、普通鋼冷延広幅帶鋼、特殊鋼熱間圧延鋼材。

(2) 一般機械工業（総合）（生産指数 118.7 → 124.7）

- 生産指数は、前年比 5.1% 上昇（2年ぶり）。
- 上昇した主な品目は、ショベル系掘削機、半導体製造装置、プレス用金型。

(3) 電気機械工業（総合）（生産指数 77.6 → 85.4）

- 生産指数は、前年比 10.1% 上昇（2年ぶり）。
- 上昇した主な品目は、電気計器（電気・情報）、半導体集積回路（電デバ）、携帯電話（電気・情報）。

(4) 自動車部門（生産指数 111.3 → 112.2）

- 生産指数は、前年比 0.8% 上昇（3年連続）。
- 上昇した主な品目は、ディーゼルエンジン、普通自動車、シャシー及び車体部品。

確報については、平成 27 年 8 月頃に県ホームページ等で公表予定